

18年10月21日（日）午前の部 9：00～11：30

セッション6：座長 高宮 広土

- O-C1 9:00-9:15 宇木汲田遺跡における植物食利用
高宮 広土 (鹿児島国際島嶼教育研究センター)
- O-C2 9:15-9:30 津雲貝塚より出土した縄文時代人骨の放射性炭素年代測定
日下 宗一郎 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)
- O-C3 9:30-9:45 左右方向の安定性がチンパンジー筋骨格モデルの四足歩行に及ぼす影響
平崎 鋭矢 (京都大学霊長類研究所)
- O-C4 9:45-10:00 白保4号頭骨のデジタル復元と復顔
河野 礼子 (慶應大・文)
- O-C5 10:00-10:15 StillSuit: an endoskeletal robot suit for the super aging society
太田 聡史 (理化学研究所)

セッション7：座長 古市 剛史

- O-C6 10:15-10:30 関東地方縄文時代人の犬歯頬舌径による性別推定
佐々木 智彦 (東大総研博)
- O-C7 10:30-10:45 日本人乳児における頭蓋の成長様式の解明 -相同モデルを用いた頭蓋形態の解析-
桑原 広輔 (国立成育医療研究センター 形成外科)
- O-C8 10:45-11:00 類人猿の集団間関係の種間、地域間、地域内変異：ヒト科における地域社会の
進化の解明を目指して
古市 剛史 (京都大学霊長類研究所)
- O-C9 11:00-11:15 縄文時代人の中足骨骨幹部形態
萩原 康雄 (新医福大・リハ)
- O-C10 11:15-11:30 直立二足起立行動がラット半規管の形態に及ぼす影響
松村 秋芳 (防衛医大・生物)

